

科目名	公衆衛生看護学演習Ⅱ Public Health Nursing SeminarⅡ			担当教員 (研究室番号)	清水 真由美 (408) 中北 裕子 (404)	教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次後期	科目区分	専門科目		選択区分	コース必修	単位数(時間)	2(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
											遠隔授業	一部
ディプロマ・ホーリン(DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。										
	関連するDP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。										
科目目的	公衆衛生看護学領域で用いられる理論や研究方法について、実践への有効活用事例を用い理解を深め、自己の研究テーマに適した研究デザインを探索する。											
到達目標	1. 公衆衛生看護学領域の研究において用いられる理論や研究方法を理解することができる。 2. 自己の研究テーマに関連した文献レビューを行うことができる。											
成績評価方法(基準)		プレゼンテーション(40%)、レポート(40%)、演習に取り組む姿勢(20%)										
教科書		特に指定しない										
参考書等		山川みやえ・牧本清子編：よくわかる看護研究論文のクリティーク 第2版 日本看護協会出版会2020 福原 俊一：リサーチ・クエスチョンの作り方 第3版 健康医療評価研究機構、2015 その他の資料・参考図書は随時紹介する。										
受講者へのメッセージ		計画的に、積極的に演習に臨んでください。										
備考		授業方法は、担当教員および履修者と相談の上決定する。										
回	学習項目				学習内容				主担当教員	授業方法		
1回	オリエンテーション				授業目標、学習内容・方法、評価方法について説明する。				清水	未定		
2回	地域診断と地域の健康課題の解決 1				地域課題の優先順位の決定について学ぶ。				中北	未定		
3回	地域診断と地域の健康課題の解決 2				保健事業の評価方法について検討する。				中北	未定		
4回	公衆衛生看護学領域に関連する研究の実際 1				地域における母子保健に関する研究の実際について学ぶ。				中北	未定		
5回	公衆衛生看護学領域に関連する研究の実際 2				外国における研究の実際について学ぶ。				清水	未定		
6回	公衆衛生看護学領域に関連する研究の実際 3				在留外国人に関する研究の実際について学ぶ。				清水	未定		
7回	公衆衛生看護学領域に関連する研究の実際 4				健康格差に関する研究の実際について学ぶ。				学外協力者	未定		
8回	公衆衛生看護学領域に関連する研究の実際 5				普及と実装研究の実際を学び、研究成果の社会への還元について検討する。				学外協力者	未定		
9回	地域診断と地域の健康課題の解決 3				特論で実施した地域診断をさらに深める。具体的には、対象とした地域と市町・県のデータと比較し、アセスメントを行い、見出された健康課題を発表する。				清水中北	未定		
10回	公衆衛生看護学領域に関連する研究の実際 6				災害時の公衆衛生看護活動と研究の実際について学ぶ。				中北	未定		
11回	公衆衛生看護学領域に関連する研究の実際 7				HIV・エイズに関わる研究の実際について学ぶ。				清水	未定		
12回	地域診断と地域の健康課題の解決 4				データヘルス計画の構造を理解し、健康課題の抽出、課題解決に向けた事業設計などにおいて、データを活用する意義について学ぶ。				中北	未定		
13回	公衆衛生看護学領域に関連する研究の実際 8				ナッジに関わる研究論文(原著)を1つ選び、発表する。各自の職域におけるナッジの活用について検討する。				清水	未定		
14回	公衆衛生看護学領域に関連する研究の実際 9				産業保健に関する研究の実際について学ぶ。				清水	未定		
15回	地域診断と地域の健康課題の解決 5				地域の健康課題を解決するための事業案を企画立案し、発表する。				清水中北	未定		